

三六年ノ「ボタニカル、マガジン」ニ英國キウ植物園ニ培養セラレテ開花シタモノ、插圖ガアルノヲ見テ漸ク其花ノ模様ヲ知ッタ位デアル  
繁殖ガ容易デナイト何時迄モ珍貴植物トシテ大事ガラレルカラ此植物ノ爲メニハ却ツテイ、カモ知レナイ、蘇鐵大戟ノ和名ハ小生ノ假稱デ甚潛越デアルカモ知レナイガ直感ノ儘ノ名前デアル

## ○草木見聞小記

東京 檜山庫 三

(一) いはうちは (*Shortia*) ノ白花品

珍ラシイモノデハナイカモ知レマセヌガ昭和三年ノ四月二十六日ニ武州惣岳山ノ北面ノ岩ノ突起上ニテ觀マシタ

(二) じふもんじしだノ異形

上州四萬溫泉ト法師溫泉トノ間ニ在ル赤澤山ノ半腹ニテ昭和三年十月ニ觀タトコロノじふもんじしだハ中央ノ羽状葉ノ先端ガ二岐シテ居リマシタ

(三) 谷川岳頂ノやはんのき

上州ト越後トノ境ヲナス谷川岳頂上ニハ丈一一二尺ノやはんのきガ全クノ灌木狀ヲナシテ密生シテ居リマシタ海拔一九六三米デ高山植物モ生ズル岩石多イ此山ノ頂ニ然カモ烈風ヲモノトモセズニ存在シテキルノガ面白イトイ思ヒマシタ

(四) またたびノ鹽漬

植物研究雑誌四ノ一二牧野先生ガ書カレテキルまたたびノ鹽漬ヲ前記法師溫泉ニテ實際ニ食ハサレマシ

タ、またたび特有ノ餘リ好マシクモナイ香氣ガ鼻ヲツキ、大シテ美味シクモアリマセンデシタ

(五) あかまつニモ時ニ三個ノ葉ヲ生ズル事ガアル

自宅ノあかまつニ三個ノ葉ヲ着ケタモノ、アルノヲ昭和三年ノ秋、其落葉シタモノニヨツテ知リマシタガ、ハカラズモ同四年ノ春又同様ノモノヲ拾ヒマシタ樹丈ガ高イ爲ニ生葉ニ就テハ觀察ヲマダ致シマセンデスガ、他ニ(あかまつノ他ニ)松ハ一本モノナインデスカラ、而シテ時ヲ隔テ、二回マデモ同ジ場處デ拾ヒマシタ事カラシテ是レハ我庭ノあかまつノ葉デアルコト、思ヒマス、或ハ此ノ事實ハ既ニ知ラレテ居ルモノカトモ思ヒマスガ、小生ニハ珍ラシカツタモノデスカラ、ココニ書キマシタ

(六) 永久草

肥前長崎ノ温泉岳附近デハほそばのやまははこノ事ヲ永久草ト呼ブサウデアリマス、按ズルニ其花ガ非常ニ永ク持ツノデ斯ク申スノダト思ヒマス

○斷枝片葉 (其四十六)

牧野富太郎

●捕魚用ニ使ハル、植物

子供ナドガ能ク川魚ヲ捕フル時河水ニ投ジテ魚ヲ弱ハラセルニ用ウル植物ニ色々アルガ其中ニえごのきガアル即チ其未熟ノ實ヲ春キテ之レヲ川ニ投ジ其目的ヲ達スル、又辛キ蓼ヲ用ウル場合モアル、又處ニヨリテハのぐるみ一名のぶのき(くるみ科)ノ生葉ヲ春キ之レヲ流レニ投入シテ目的ヲ遂グルコトモアル、此のぐるみノ實カラハ黃色ノ好染料ガ採レ此レデ染メタ織物ハ假令日光ニ曝シテモ容易ニ褪色シナイトノ事デアル、兵隊ノ服ハ能ク此レデ染メルト聞イタ事ガアツタガタ、其原料ガ豊富デナイノデ困ルト云フ事デアッタ

●芝居伽羅先代萩ノちさのき

「こゝちの裏のちばの木に／＼、雀が三足止一まつて／＼」